《 単元の指導計画 》 全5時間

【授業単元名】基礎教養系列

段階	時間数	学習内容	期待する子どものあらわれ	学習過程
1時間目	1	人生プランについて考える	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフプランを考えていく中で青年期（高校生）とは、これからの人生のターニングポイント・決断をむかえる時期に立っている重要性を認識させる。 ・これから起こりうる人生のイベントを考え、将来の見通しを持つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎教養系列」の授業目的を説明する ・「生活」「お金」をキーワードにこれからのライフプランを考える ・キーワードをワークシートに記入する
2,3時間目	2	生活設計・マネープランゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・カードゲームを通して、ライフプランを作り、人生において「お金」と密接に関係していることを体験して理解する ・自分の人生設計について考察させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活設計・マネープランゲームを班別実施する(20歳代、30歳代) ・結果をワークシートにまとめ班ごとに結果を考察し発表する
4時間目	1	ゲームの振り返り ローン・クレジットについて	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を理解する力、価値観を確認する力を仕事（就職）と関係づけながら考えを深める ・「信用」をキーワードに、仕事・お金（ローン）を学び、考え、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1,2,3時間目の振り返り ・仕事（働くこと）について考える ・ローン・クレジットについて学び、「信用」についても理解する
5時間目	1	講師派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・金融経済の観点からライフステージ全般について、講師の話聞く ・「プロに聞く」と題して、銀行員の仕事について、やりがいを聞きメモをとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで振り返りを行う ・銀行の業務について理解する ・「働き方を考えてみよう」シートを活用して、講師の話聞く

1 時間目

【授業の目的】

ライフプランを考えていく中で青年期（高校生）とは、これからの人生のターニングポイント・決断を迎える時期に立っている重要性を認識させる。これから起こりうる人生のイベントを考え、将来の見通しをもつ。

【評価】 出席・態度・意欲・ワークシート完成度

	授業内容	備考
<p>導入 10分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「基礎教養系列」とは、 今すぐにも就職できる力を身につける為の授業である。</p> </div> <p>就職は自身の意思に基づいて決定し、資格取得が必要な場合は進学も視野に入れながら正社員での就職を目標とする。</p>	<p>ワークシート配布</p>
<p>展開 30分</p>	<p>・これからのライフプランを「生活」「お金」をキーワードに考えさせる。</p> <p>《正社員とアルバイトの違い》 生涯賃金 正社員：2億円 アルバイト：5千万円 →生涯賃金に大きな差がある →目標を正社員として就職を考える</p> <p>《就職が大切な理由》 ＝生活費のため</p> <p>《生活費には何があるか》（人生のイベント） 収入：給料、昇給、ボーナス など 支出：車、結婚、子育て、旅行、趣味、病気、家、生活費、 家族・友達のお祝い、減給、株価下落 など →人生のイベントにはお金が必要 *生活設計・マネープランゲーム「イベント・アクシデントカード」の内容を参考に →継続して仕事に就くことが大切 →社会生活において「信頼」を得ることが大切</p>	<p>次時授業のカードゲームへの伏線になるように、キーワードを組み込む。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>・ライフプランを考えるにあたって、イベントには「お金」が必要であり、「お金」を稼ぐには安定して継続した仕事に就くことが大切であることを考えさせる。</p> <p>《身につけてほしいこと》 ①コミュニケーション能力+学力を身につける ②自分の課題発見→苦手克服 ③目標を持って行動する ④説明する+話を聞く力 ⑤情報を整理する力</p> <p>《次回授業の予告》</p>	

2.3 時間目

【授業の目的】

カードゲームを通して、ライフプランを作り、人生において「お金」と密接に関係していることを体験して理解する。自分の人生設計について考察させる。

【評価】出席・態度・意欲・ワークシート完成度

	授業内容	備考
導入	2時間でカードゲームをおこなう(20歳代~30歳代) グループの確認(3~6人×7班)、カードの種類確認	ワークシート配布 (まとめ用) 20歳代、30歳代 マネープランシート (班に1枚)
展開 第5時限目	<p>《20歳代の生活設計・マネープランゲームを体験する》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入カード、基本生活カードを引く ・結婚カードを引く ・子育てカードを引く ・住居の決定 ・自動車カードを引く ・保険に入るか入らないか ・イベント・アクシデントカードを引く(3枚) ・収支の計算 <p>マイナスの班が多くなった</p> <p>《考察》 30歳代の収支をどうすればいいか、20歳代の反省を活かそう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カードは偶然ではなく、選択する ・今回は収支がマイナスでも一括購入OK
展開 第6時限目	<p>《30歳代の生活設計・マネープランゲームを体験する》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入カード、基本生活カードを引く ・結婚カードを引く(未婚の場合) ・子育てカードを引く ・住居の決定 ・自動車カードを引く(20年間乗り続ける選択肢もあり) ・保険に入るか入らないか ・イベント・アクシデントカードを引く(3枚) ・収支の計算 <p>《20歳代、30歳代の収支を計算する》</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・30歳代までには必ず結婚すること ・子どもは1人以上作ること
まとめ	<p>大切なのは、20歳代の反省を活かして30歳代の収支がプラスになったかどうか</p> <p>《考察》 グループ毎に人生を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、プラスにならなかったのか ・プラスになる方法(具体策を考える) <p>人生の出来事は支出が多い! だから、安定した収入が必要となる。つまり、継続して仕事を続けることが大切である。そのためには「信頼」が必要である。</p>	

4 時間目

【授業の目的】

自分を理解する力、価値観を確認する力を仕事（就職）に関係づけながら考えを深める。

「信用」をキーワードに、人生における仕事やお金との関わり方を学び考え、理解を深める。

【評価】 出席・態度・意欲・ワークシート完成

	授業内容	備考
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・第1時で行ったライフプランの振り返り ・第2時で行ったカードゲームの振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・人生設計の中で「働く」＝「生活をする」、「生活をする」＝「お金を使う・借りる・貯める」ということに気付く
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事（働くこと）について考える →働くとは、お金を稼ぐためだけに行うことなのか？ ・あなたの働き方を考えてみよう！！ ワークシートを活用して、それぞれがどのような職業人生を歩んでいきたいのかを考える ・社会人として生きていく＝人生の中での収入・支出に目を向ける ・社会人として生活をしていく上で、お金との関わりは切っても切り離せない *収入に対して、何にどれだけお金がかかるのか *欲しいものがいくつもある、貯金だけでは購入できない場合、どう対応するのか →ローン・クレジットを組む場合には「信用」が必要であることを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「働く」ことは、生活のためにお金を稼ぐ目的以外に、やりがい・生きがいなど「自己実現」という側面があることにも気づく。 ・働き方を考えるワークシートどれが正解ということではなく、それぞれが何を重きを置くのかということを考えられるようにする ・正社員とフリーターの生涯収入の違いを理解する ・ローン、クレジットのメリット・デメリットを理解し、賢く活用できるようになる
<p>お金を借りる場合に限らず、社会人として生活していくためには「信用」が重要 就職をして仕事をしていく中でも「信用」は重視される</p>		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事とは、お金を稼ぐことだけではなく、生きがいややりがいを見つけ、それを継続して安定したものにする事の大切さを理解する ・社会人として生活していくためには「信用」が大切。 お金を借りる場合には、特に重要になることを理解する ・今後の人生を振り返ったときに18歳で決断した人生の選択（就職）がよかったと思えるためにも、現在を大切にすることを育む 	